

先日の東大見学会はお金に代えられない、貴重な経験でした。

二日間で僕が思った、特に印象に残ったことは「たくさんのトップ層の人たち、すごい人たちに会ったが、皆さんも私達と同じ人間であり、手の届かない存在ではない」と感じたことです。

ただ、もちろん今の僕と彼らとではいろいろな部分において足元にも遠く及ばないくらいの能力差があります。それも肌で感じる事ができ、この先頑張っていく時のちょうど良い励みになるのだらうと思いました。

まず、一日目の午前中は三菱商事さんをお邪魔させていただきました。

初めに思ったことは、社員のみなさんは全員がカッコいい、ということです。服装がしっかり決まっていっちゃったのはもちろん、表情も格好良くて、できる人というのはまず雰囲気から違うのだと感ずることができました。

業務紹介の後のディスカッションでは、司会をしていた方にテーブルに来て頂いたのですが、さすが話をつなげたり振るのが上手だなと感じました。しかしその方は大学時代まで人と話すのがそこまで得意ではなかったからできることなら昔の自分にアドバイスしたいとおっしゃっていました。僕でも頑張り次第でその方のようになれる、と具体的にわかることができて良かったです。ディレクトフォースの方からもお話を頂きました。こちらは長年働いてきた重みのある言葉で、身が引き締まりました。昔のこととはいえ、頑張るために必要な「魂」は今も昔も変わらないのだらうと思います。

午後は共同通信社さんをお邪魔させていただきました。

大事なニュースのときに叫んで他のフロアにも伝えられるようにした中央の吹き抜け兼階段、集合スペース、山積みの本、仮眠部屋、ニュースセンターにある沢山のテレビなど、大企業の会社の中にいるのだと思ひ出させてくれるものがたくさんありました。そして、「つい先ほど仕上がった原稿です」と、原稿を見せてもらったり、「すぐそこにいるあの人がさっき言った、高倉健の訃報を叫んだ人だよ」と教えてもらったりした時は、本当にこのビルから、この人たちから日本中へニュースが発信されているのだと感ず、とても不思議な感じがしました。やはり、実際に社内に入り社員の方々の働いている姿を見学させていただいて、今すぐは無理だけれど、ここで働くのが一生無理というわけではないなと感じました。

見学後の兵庫高校との交流では、けっこう西の方に住む同級生の姿を見ることができて、面白かったです。その場でLINEの交換や写真撮影をしたのですが、こういうときに友達になっておいて人脈を広げていくのも将来に生きてくる大切なことなのかもしれないと今になって思ひます。

夜の、先輩方からのお話は、今回の見学会で最も印象に残りました。塾に行かなくても問題集のみで合格できたこと、二高の授業を普通に受けていれば東北大には受かるが東大に行くには足りないこと、皆さん共通してストイックだったことなど自分が必要としていた情報を自分から積極的に聞きにいったのは良かったなあと思ひます。そして、自分でもできる、頑張れると無意識に感ずることができました。

特に女子の、起業して今四年生に戻って大学に通っているという方の話は衝撃的でした。その中で、彼女の華々しい経歴を支えていたのは徹底的な完璧主義だとわかりました。家庭環境など彼女と自分では違う部分がたくさんありましたが、今から完璧主義をまねすれば、彼女のように輝くことができるのだらうと思います。

翌日はほぼ一日時間を頂き、東大のオープンキャンパスを見て回りました。この時間をいかに有効利用するかが今回参加したみんなの肝となる部分だったと思ひます。僕は経済学部模擬講義を受けるために朝から学部棟に張り付き、模擬講義を受け、学食や生協を見て、教育学部模擬講義を受け、生協や本屋で買い物をすると

う一日を過ごしました。模擬講義では正直眠くなってしまいう部分もあったり、わかりにくい部分もあったりと、いくら東大といえど良くない部分もあるのだとわかりました。ここはもし東大に入ったとしても工夫していかなければならない部分だし、大学選びの際も他の大学の模擬講義も見てしっかり決めていかなければならないな、と思いました。学食もそこまで惹かれたわけではなく、学食も大事な要素だと思いました。

大企業や東大にいる方の姿を見ていて、初めは「なんだ、大したこと無いな」と思ってしまいました。あまり先入観を持たずになんとなく「とてもすごい人」に会うとだけ思って行ったからかもしれませんが、自分でも東大にいけるし大企業にも勤められそうだと思ってしまいました。しかしよく考えてみると、やはり雰囲気少し違いました。「自分は今まで頑張ってきたし、これからも頑張れる」という自信のようなものが雰囲気として漂っていたと思います。僕はまだこれといって誇れる、頑張ったという経験がありません。それを身に着けたときに、人は変わるのだらうと思います。ただそれでも、何度も一流の場所や人を見ているうちに、無意識に心の中で、自分と「一流のモノ」との距離が縮まっていったように思います。これは、将来壁にぶつかった時に簡単にあきらめないための糧になると思います。

東大見学会に行ってみて、僕はとりあえず東大を目指すことにしました。なぜなら、先輩方は当たり前のように東大生として振舞っていて、自分でも目指せそうだとわかったからです。もちろん厳しい道のりになるのだらうと思います。しかし「自分は頑張ってもあの先輩方に追いつけなかった」とはなりたくないです。自分を信じてみたいです。並行して、大学選びもしっかりしていこうと思います。東大に実際に行ってみて、その後色々調べてみて、東大は全てにおいてナンバーワンというわけではないと分かりました。むしろ私大のほうが優れている、という部分もあるとわかりました。なので、東大生並みの学力を持って、自分の人生を後悔の無いように設計していきたいです。今回お会いした方々はすごい人たちでしたが、だからこそ彼らには負けたくない、と思います。

もう一つ東大見学会の中で感じたことは、友達作りの大切さ、話しかける力の大切さです。僕の友達には理系しかなくて、オープンキャンパスの計画を立てるときなどは困りました。その他にも割と今回は同じ二高生とともに行動する機会が多く、孤立するのを避けるためにも、将来の仲間を作るためにもがんがん話しかけていかないといけないなあと実感しました。もし大人になった時に知り合いがたくさんいれば、二高生の知り合いならばただ楽しいだけでなく色々円滑に自分の仕事を進めたりすることができそうだと思います。

東大見学会を開催していただきありがとうございました。僕は今回、頑張るための力をもらうことができたので、これから先もずっとこの行事は続いて欲しいと思います。よろしくお願いします。ありがとうございました。